

平塚遺跡 第24地点

遺跡名	平塚遺跡
よみがな	ひらつかいせき
調査地点	第24地点
主な時代	縄文時代前期（約5500年前）、平安時代（約1150年前）
調査地	富士見市羽沢3丁目1534番4
調査面積	126.4㎡
調査期間	令和2年4月24日～5月18日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代前期の竪穴住居跡1軒、平安時代の竪穴住居跡1軒</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文時代前期の縄文土器片、石器、石製耳飾 平安時代の土師器片、須恵器片</p> <p>【概要】 平塚遺跡は、山室会館のすぐ南側にあり、荒川低地を望む武蔵野台地縁辺部の平坦面に立地しています。 今回の調査では、縄文時代前期の竪穴住居跡と、平安時代の竪穴住居跡が重なり合って確認されました。縄文時代の住居跡は四隅の丸い長方形で、長軸方向約9m×短軸方向約7mと当時の住居としては大型のものでした。住居内からは縄文土器や玦状耳飾（けつじょうみみかざり）と呼ばれるCの字形の石製イヤリングの破片が出土しています。出土している土器の多くは関山式と呼ばれるタイプのもので、水子貝塚で集落が営まれ始める直前の時代のものです。</p>



平安時代の竪穴住居跡完掘状況



縄文時代の竪穴住居跡完掘状況



縄文時代の住居跡から出土した土器片



玦状耳飾（けつじょうみみかざり）